

報道関係者 各位

新潟県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

新潟県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

**「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異を有する
新型インフルエンザウイルスが確認されました**

新潟県内において、新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1) の感染が確認された患者(#1)から、オセルタミビル(#2)耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されましたので、概要をお知らせします。

- #1 : 71 歳、男性、1 月 18 日 細菌性肺炎により死亡、1 月 19 日公表
#2 : 商品名タミフル、以下「タミフル」という。

1 検査結果

- (1) 遺伝子検査 (県内試験研究機関実施 1 月 21 日 (木) 判明)
タミフル耐性を示す遺伝子変異を確認。
- (2) 薬剤感受性試験、(国立感染症研究所実施 1 月 28 日 (木) 結果連絡)
- ・タミフル 耐性を確認
 - ・ザナミビル(商品名リレンザ) 感受性を確認。
- <参考>
- ・耐性 : 当該の薬剤に対し抵抗性を持ち、効きにくくなること。
 - ・感受性 : 当該の薬剤が有効に作用すること。

2 患者の概要

県内に在住、71 歳、男性
基礎疾患 : 肺気腫
新型インフルエンザワクチン接種 : なし

3 経過

平成 21 年

- ・12 月 17 日 発症 (発熱 38 度、鼻水、咳症状あり)。
- ・12 月 20 日 県内の病院を受診し、簡易検査でインフルエンザ A 型陽性
タミフル (通常量を 5 日間投与) など治療開始。症状改善せず。
- ・12 月 24 日 症状改善せず、食欲低下もあり、同院を再度受診し、入院 (個室)。
- ・12 月 25 日 PCR 検査用の検体採取
※本検体をタミフル耐性に係る検査及び試験に使用した。
- ・12 月 28 日 PCR 検査により新型インフルエンザと確認。

平成 22 年

- ・ 1月初め 病状は改善。
- ・ 1月7日 細菌性肺炎を併発。
- ・ 1月中旬 病状悪化。
- ・ 1月18日夜 死亡（死因：細菌性肺炎）

※患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いします。

4 その他

- (1) 患者の周囲に、インフルエンザ様症状を有する方があったが、いずれも軽症で現在、回復している。
- (2) タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には直接影響を及ぼすものではないとされる。(厚生労働省)
- (3) 新潟県内で、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは4例目、死亡例から確認されたのは1例目。
※総実施検体数：66 検体（経過からタミフル耐性が疑われる検体を選択）
- (4) 全国で、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは45例目、死亡例としては3例目（本件を含む）。

本件についてのお問い合わせ 福祉保健部健康対策課 課長補佐 齋藤（直通）025-280-5339 （内線）2707
--